

平成21年7月27日

小便小僧がライフジャケット着用推進！！

マリンレジャー安全推進室では、夏季マリンレジャー安全推進活動の一環として、
7月27から8月26日の間

JR 浜松町駅の小便小僧に、ライフジャケットを着用させ、「海のもしもは118番」「ライフジャケット着用宣言」の幟と救命浮環を持たせています。浜松町で乗降する通勤客や旅行者、小便小僧のファンが、着替え終わったばかりの小便小僧の姿を写真に収めていました。

JR 浜松町駅の小便小僧の着せかえは、昭和61年に芝消防署から火災予防運動のPRとして、小便小僧に防火服の衣装を着せたいとの依頼をきっかけに始まったもので、毎月一回、手芸グループ「あじさい」のメンバーによって着せかえが行われています。

小便小僧が、当庁の安全啓発活動に参加するのは、今回で3回目であり、梅雨が明け、マリンレジャーシーズン真っ盛りの7月27日から約1ヶ月の間、マリンレジャーでの死亡・行方不明者の減少を訴えています。



海上保安庁では、マリンレジャーを楽しむ際の3つの基本として

- ・ ライフジャケットの着用
 - ・ 防水パック入り携帯電話の所持
 - ・ 海の緊急通報118番の活用
- を推進しています。

